

科目名	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ					単位	1.0
担当教員	吉田 みゆき・宮沢 和志						
授業形態	演習	開講期間	随時	配当年次	3	授業番号	7011

●授業のテーマ

精神保健福祉援助実習

●到達目標

精神保健福祉援助実習の事前指導と位置づける。実習に向けて実習先における利用者と各種業務をつかみ、各自の実習課題を明確にして実習に臨む。

●学習内容(授業概要)

個別・集団学習を通して各自の実習先において精神保健福祉士に求められる専門的な知識・技術等への理解を深め、各自の関心や力量形成に向けた課題を明確にする。また精神保健福祉士に求められる資質や倫理、自己課題の把握や、総合的な力量形成への自覚を高める。それらをふまえて個々の実習に向けた達成課題を具体化し、「実習計画」にまとめる。

●学習内容(授業計画)

- 1 全体オリエンテーションー実習に向けた事前の準備, 手続き
- 2 障害福祉サービス事業所の現状, 最近の動向等について
- 3 精神科医療機関の現状, 最近の動向等について
- 4 実習先とその利用者への援助方法の理解
- 5 相談援助の実際についての学習
- 6 精神保健福祉士による講演
- 7 各自の実習目標の設定・交流①
- 8 各自の実習目標の設定・交流②
- 9 「実習計画」について
- 10 「実習計画」の作成指導①
- 11 「実習計画」の作成指導②
- 12 個人情報保護, 職業倫理, 就業規則等について
- 13 「実習記録」の内容, 記録方法について
- 14 実習直前の留意事項等
- 15 巡回指導(訪問指導・スーパービジョン)

●準備学習・事後学習の内容

自分が出向く実習機関について調べる。

実習で何を獲得したいか考え、実習計画書を作成する。

●成績評価方法・基準

実習先に関して調べた内容, 精神保健福祉士に必要な知識・技術や自己の資質等を高める目的意識性(50%), 「実習計画」(50%)により総合的に評価する。

●テキスト（必携）

「精神保健福祉援助実習の手引き」「精神保健福祉援助実習記録」（本学で配布する）

●参考文献／その他

『PSW 実習ハンドブック』荒田寛，小田敏雄，田村綾子，川口真知子，相川章子編集，へるす出版。

『精神障がい者の生活サポートハンドブック－アドボケートとケイトちゃんから、あんしんしてできる暮らしのためのメッセージ』，社団法人日本精神保健福祉士協会企画部権利擁護委員会編集，へるす出版。

『ソーシャルワーク記録－理論と方法』，副田あけみ、小嶋章吾編著，誠信書房。

新・精神保健福祉士養成講座9『精神保健福祉援助実習指導・実習』，〔編集〕日本精神保健福祉士養成校協会，中央法規出版。

●履修上の注意

配属実習担当教員、実習先指導者との連絡、報告、相談は早めに行うこと。講義の無断欠席は認めない。講義日程は年度初めに伝える。